

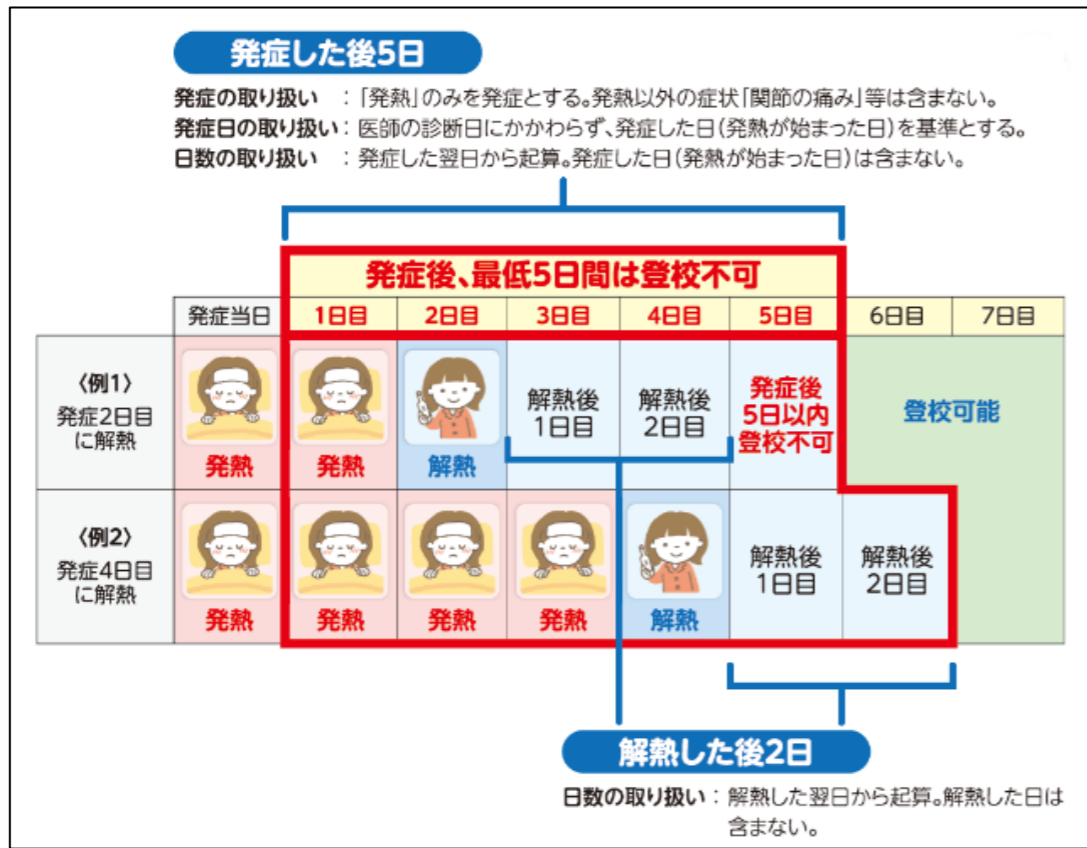
インフルエンザの流行の兆しが見られます

今週の月曜日には、何名かの6年生の子どもたちがインフルエンザの診断を受け、欠席をしました。そこで、10月24日(火)～26日(木)までを学年閉鎖としました。

全校的な流行は見られませんが、他校の状況からも、同じ教室で過ごしている子どもたちへの感染は早いように思われます。学校としては、引き続き、手洗い、うがい、換気といった従来通りの感染症対策を続けていきますので、ご家庭でも、感染症対策とともに、早めに寝かせる等、体調を整える取組をお願いします。必要に応じて、マスクの着用もお願いします。

なお、発熱や腹痛等、体調が優れない時には、早めに休ませていただき、必要に応じて医療機関の受診をお願いします。受診された場合については、結果の報告をお願いします。

インフルエンザによる出席停止期間は以下の通りです。ご確認をお願いします。発症日を0日とし、最低5日間は登校はしていただけませんのでご確認ください。



11月から1月末までは、帰宅時刻を「16時30分まで」と指導します。

放課後、学校で遊ぶことは構わないですが、最近、薄暗くなるまで遊んでいる子どもがいて、注意をすることがあります。「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、日没後はすぐ暗くなります。学校では、明るいうちに帰宅させたいと考えています。そのため、これからの日没時刻を踏まえ、11月から1月末までは、「16時30分までに帰宅する」ように指導します。それに伴い、その期間は、学校からの退校時刻も16時15分とします。

学校以外で遊ぶ場合にも、16時30分までには帰宅するよう、ご家庭でもご指導ください。

いがまち「三校交流会」

いがまちでは、あらゆる差別の解消に向けた反差別のなかまづくりを目的として、小学校3年生から中学校3年生まで、同じ学年の子どもたちが一堂に集い、各校で取り組んでいる人権学習やなかまづくりについての取組を交流したり、みんなで人権について考える場をもったりする「交流会」を実施してきています。今年4年ぶりに一堂に会した交流会が実施できるようになり、どの学年の子どもたちも、対面でお出会うのは初めてとなります。

3年生「三校交流会」(10/18)

3年生は、柘植小学校が会場で、交流会を実施しました。交流会では、会場校の子どもたちが、進行します。3年生は、柘植小学校の子どもたちの進行のもと、はじめは、各校での人権学習の取組の発表をしました。本校の子どもたちは、1番目の発表でした。はじめに学校クイズを出し、壬生野小学校のことを知ってもらいました。その後、西之澤のノハナショウブを大切に守って来られている地域の方々や高校生の取組について発表しました。どの子どもも、担当したセリフを大きな声で発表できていました。発表からもどってきた子どもたちからは、「緊張した。」という声が聞かれました。西柘植小学校からは、地域の「チロチロリン村」の取組、柘植小学校から「いがまち人権センター」の取組について発表がありました。

その後、3校の子どもたちが混ざった8つの班に分かれて、途中、クイズを解きながら、いがまち人権センターを目指して、班ごとに歩きました。どの班も、協力しながら、楽しそうに歩いている様子が見られました。

子どもたちは、1年後、4年生として、成長した仲間に出会えることを楽しみにしていました。



学習発表会 & 学級懇談会へのご出席をお願いします。

11月1日(水) 1・2・3年生学習発表会 & 学級懇談会

11月7日(火) 4・5・6年生学習発表会 & 学級懇談会

12:50~	保護者の受付
13:10~14:20	学習発表会
14:35~15:35	学級懇談会
※発表時間は前後する可能性がありますので、余裕をもってお越しください。	